

講義・演習概要 (シラバス)

第1部課程第120期 (平成25年4月9日～平成25年9月4日)

課 目 名	農業政策論
時 限 数	2時限
担 当 講 師	<p>名古屋大学教授 生源寺眞一 〈プロフィール〉</p> <p>昭和51年3月 東京大学農学部農業経済学科卒業 昭和51年4月 農林省農事試験場農業経営部研究員 昭和56年8月 北海道農業試験場農業経営部研究員 昭和62年7月 東京大学農学部助教授 平成8年6月 東京大学大学院農学生命科学研究科教授 平成19年4月 東京大学大学院農学生命科学研究科研究科長 平成23年4月 名古屋大学大学院生命農学研究科教授</p>
ね ら い	<p>過去20年ほどの農政の流れを振り返り、食料政策・農業政策・農村政策のポイントを理解するとともに、2度の政権交代もあって安定感を欠いた政策に対する冷静な評価と対応の視点を養う。いくつかの政策については、EUの政策との比較を行うことで、理解を深める。</p>
講 義 概 要	<p>【1限】</p> <p>1992年の「新政策」以降の農政の流れを整理する。取り上げる政策ジャンルのおもなものは、食料自給率目標、コメ政策(生産調整を含む)、農業構造政策、価格・所得政策、農業・農村整備、農業環境政策、条件不利地域政策などである。とくに2007年の参院選以降の農政の流れについては、ネガティブな側面を含めてその意味を深く理解する。</p> <p>【2限】</p> <p>1992年のマクシャリー改革以降を中心に、EU(EC)の共通農業政策の流れについて整理するとともに、価格支持政策、直接支払政策、条件不利地域政策、環境政策など、日本の農政の参考になる要素について学ぶ。あわせてWTO農業協定の意味を理解するとともに、国際化とグローバル化の違いなど、現代の農政をめぐるホットな話題にも言及する。</p>
受講上の注意	特になし
使用教材	生源寺眞一『日本農業の真実』筑摩書房、2011年。
効果測定	なし
そ の 他 (他の課目との関連)	なし